

「導入：実践しないと読めない」

## ■この授業の目的

**目的：SPSS での調査データ分析の「実践」をとにかく経験する**

- ・とりあえず実践すれば、何が簡単で何が難しいのかがわかる。
- ・「読めるだけでよい」という人も、実践経験がないとむしろ遠回りになる。
- ・本当に使うときになってから学習するのでは遅い。
- ・「社会学」でのデータ分析を意識する（情報処理の授業ではない）。
  
- ・カバーする範囲
  - 基礎分析
    - 一変量の分析（度数分布表→基本統計量）
    - 二変量の分析（クロス表→連関係数、散布図→相関係数、グループ別の平均比較）
  - 多変量解析
    - 回帰分析は自信をもって使えるようになる
    - 他は「だいたいわかる」を目指す（主成分分析、因子分析、クラスター分析）
  - データの入力・加工
    - データ入力、リコーディング、新変数の計算、分析対象の限定
  - 計量分析のレポート作成
    - 文章の基本構成、図表作成、考察の仕方

### 講義予定

- 第 1 回 導入：実践しないと読めない
- 第 2 回 基礎分析（1）
- 第 3 回 基礎分析（2）
- 第 4 回 重回帰分析（1）
- 第 5 回 重回帰分析（2）
- 第 6 回 データの加工
- 第 7 回 再び重回帰分析
- 第 8 回 新しい枠組みを発見する分析（1）：主成分分析
- 第 9 回 新しい枠組みを発見する分析（2）：因子分析
- 第 10 回 新しい枠組みを発見する分析（3）：クラスター分析
- 第 11 回 新しい枠組みを発見する分析（4）：自由な探索の実践
- 第 12 回 その他の分析技法
- 第 13 回 計量分析でレポートを書く・読む（1）
- 第 14 回 計量分析でレポートを書く・読む（2）
- 第 15 回 まとめ

- ・具体的にできるようになってほしいこと
  - 1) 社会学の視点から、それぞれの分析手法のねらいを理解する。
  - 2) SPSS を操作して分析結果の出力と読み取りができる。
  - 3) 目的に見合った分析プランを立案できる。

## ■ SPSS

- ・ SPSS (Statistical Package for Social Sciences) という統計分析ソフトを使う。
- ・他にもいろいろな統計分析ソフトがある (R、Stata、SAS など)。
- ・統計分析ソフトは表計算ソフト (Excel など) と似て見えるが、役割は大きく異なる。

	Excel	SPSS (IBM SPSS)
目的	表計算	統計分析
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般的でつぶしが利く</li> <li>・ 比較的安い</li> <li>・ 動作が安定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計分析に特化すれば操作が簡単</li> <li>・ データのサブ情報 (欠損値等) を整理できる</li> <li>・ 分析の過程や結果がたどりやすい</li> <li>・ 統計分析ソフトの中では一般的</li> </ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特殊な機能を駆使しなければ、普通の分析もできない</li> <li>・ 分析の過程や結果を残すには、自分で工夫が必要</li> <li>・ うっかりミスをしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普通の会社ではお目にかからない</li> <li>・ 値段が高い</li> <li>・ いまいちフレンドリーでない</li> <li>・ 出力の再利用がしにくい</li> </ul>

※関大の学生は SPSS を個人パソコンにインストールできます。

関西大学 IT センター→サービス→ダウンロードステーション を参照。

## ■ 具体的な授業内容

- ・ 「①操作説明→②とりあえずやる→③意味の説明→④作業課題」を繰り返す。
- ・ 毎回、ミニツッペーパーを提出  
  - 作業課題をこなした確認 (保田か級友に確かめてもらう)
  - + 授業終わりの文章課題
- ・ 作業課題が早くできて余裕のある人は、文章課題に早く取り組んでよい
- ・ 成績 = 授業中の課題 50%  
  - + 学期末のレポート 50%      純粹な出席点は無し
- ・ 基本的な統計学の知識 (平均、分散、相関係数、検定など) がある方がよい  
  - (知識が足りないと思う場合、計量社会学 I, II の過年度資料等を参照)
- ・ 統計ソフト (SPSS) に関する知識はゼロであることを前提とする

## テキスト

小田利勝 2007 『ウルトラ・ビギナーのための SPSS による統計解析入門』 プレアデス出版.

## 参考文献

秋川卓也 2007 『文系のための SPSS 超入門 新装版』 プレアデス出版.

練習用質問紙

(※望ましいワーディングではありません)

Q1 性別

- 1 男 2 女

Q2 年齢

\_\_\_\_\_歳

Q3 1週間の授業数(予定で)

\_\_\_\_\_コマ

Q4 片道の通学時間

\_\_\_\_\_分

Q5 親と一緒に暮らしているか

- 1 暮らしている 2 暮らしていない

Q6 【親と暮らしていない人だけ回答】帰省するためにかかる片道の時間

\_\_\_\_\_分

Q7 持っているもの【複数回答】(いま住んでいる家で自分が専用で使えるものに限る)

- 1 パソコン 2 目覚まし時計 3 ベッド 4 スーツ

Q8 大学生活で最も大切にしていることをあえて1つ選ぶと……

- 1 学業 2 人間関係 3 趣味(部活等を含む) 4 その他

Q9 大学生生活の満足度(それぞれ0~10点で評価)

- a 全般…………… \_\_\_\_\_点  
b 学業…………… \_\_\_\_\_点  
c 人間関係…………… \_\_\_\_\_点  
d 趣味(部活等を含む) …… \_\_\_\_\_点

---

今日の課題

作業課題① 4~5人のグループで練習用質問紙のデータをSPSSに入力しなさい。

作業課題② 「変数ビュー」で「ラベル」「値」「欠損値」を完成させなさい。

作業課題③ Q5、Q6の度数分布表を作成しなさい。

作業課題④ Q9a~dについて、平均値・標準偏差を比較し、分布の違いを読み取りなさい。

文章課題 練習用データをいじって度数分布表や基本統計量をいくつか出力し、結果が自分の予想と大きく異なった質問項目を1つとりあげなさい。その項目について、次の2点をしっかり区別した文章を示しなさい(2つを箇条書きにするのではなく、区別がわかる文章で書く)。

- 1) その項目の回答はどんな分布だったのか、客観的な調査結果
  - 2) 自分の予想とどのように異なり、なぜ予想と違う結果が出たと思うか主観的な解釈
-